

# 大塚製薬株式会社

項目	内容
1.企業情報	<ul style="list-style-type: none"><li>● 業種：製造業</li><li>● 事業概要：医薬品原薬、製剤、飲料、食品等 製造</li><li>● 事業規模：（売上：5,000億円、従業員数：5,627人）</li></ul>
2.削減目標案 ※定量値公表が難しい場合、定性的説明でも可	<p>&lt;Scope 1・2 の削減目標と削減に向けた取り組み&gt; 目標(案)：2030年に2017年比で24%削減など ※工場での燃料転換と電力の再エネ化を推進</p> <p>&lt;Scope 3 の削減目標と削減に向けた取り組み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● サプライヤー &amp; ロジスティクスの90%以上に対してG H G削減目標の設定を確認する</li></ul>



# 大塚製薬株式会社

項目	内容
4.気候変動によるリスクと機会の分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 将来的に原材料調達に重大な変化が生じる可能性や、対策の遅れが事業継続性の悪化につながることも懸念される</li> <li>● 自社やサプライヤーの省エネ活動の促進や、安価な再エネの導入によって、エネルギーコストの削減が実現できれば、生産や調達のコストの削減につながる可能性がある</li> <li>● 対策に取り組むことによるCDPやDJSI等の外部企業評価の向上が期待される</li> </ul>
5.削減目標設定の背景・目的・期待する効果など	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自社の環境経営戦略において気候変動のリスクと機会を位置づけるため、中長期CO2削減目標の策定を計画。この目標が2度目標の水準に整合すると表明できるように、SBTの認定を受けることを目指している。</li> <li>● SBT取得により、ステークホルダーからの削減要請に応えることを示し、社内においても積極的にCO2削減を進める根拠とする。</li> </ul>

# 大塚製薬株式会社

項目	内容
6.目標設定のプロセスと社内の議論	<ul style="list-style-type: none"><li>● 環境部門で目標案を検討、社内環境委員会で社内コンセンサスを得た上で取締役会での承認後、SBTイニシアチブへ提出。社内環境委員会においては、各部門別に温暖化のリスクと機会を検討したことで、2℃目標に整合した長期目標の必要性を共有できた。</li></ul>
7.今後の課題	<ul style="list-style-type: none"><li>● Scope 2 の削減において、太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入が必要であるが、経済的合理性を検討していくことが必要。</li><li>● Scope 1 の削減において、海外の生産拠点での燃料転換を積極的に進めることが必要。</li></ul>